

農林水産統計

STATISTICS OF AGRICULTURE, FORESTRY AND FISHERIES

平成17年9月21日発表

農業経営統計調査

平成16年産 大豆生産費（九州）

【調査結果の概要】

1 九州地域における平成16年産大豆の10a当たり資本利子・地代全額算入生産費（以下「全算入生産費」といいます。）は5万5,904円で、前年産に比べ8.9%減少しました。

これは、労働費が減少したことによります。

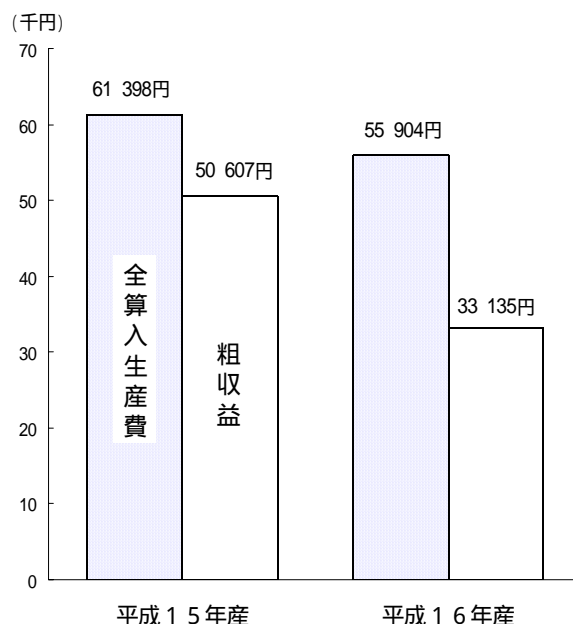
なお、全国と比較してみると、14.3%下回っています。

2 10a当たり粗収益は、3万3,135円で、前年産に比べ34.5%減少しました。

これは、台風の影響等で収量が減少したことによります。

なお、台風被害が軽微だった全国と比較してみると、27.9%下回っています。

図1 全算入生産費と粗収益（10a当たり）



平成16年産大豆の生産費及び収益性

区 分		10a 当たり	
		実 数 円	対前年増減率 %
生 産 費	物 財 費	30,846	0.1
	労 働 費	12,886	16.3
	費 用 合 計	43,732	5.5
	全 算 入 生 産 費	55,904	8.9
収 量 (kg)	102	42.0	
粗 収 益	33,135	34.5	

本統計結果で使用している統計表は、以下のアドレスからデータとしてご利用いただけます。

【<http://www.kyushu.maff.go.jp/toukei/home/sokuho.htm>】

本統計における調査の目的、調査の対象などは、【調査の仕様】6Pに掲載しています。

【解説】

1 生産費

費用合計に占める主な費目の割合は、賃借料及び料金が最も高く、次いで労働費、農機具費の順となっています。

(1) 賃借料及び料金

賃借料及び料金は1万5,814円で、前年産に比べ522円(3.2%)減少しました。

これは、防除賃は増加したものの、収量の減少に伴い乾燥・調製のためのントリーエレベーターの利用料金が減少したためです。

(2) 労働費

労働費は1万2,886円で、前年産に比べ2,511円(16.3%)減少しました。

これは、収量の減少に伴い刈取脱穀の労働時間が減少したためです。

(3) 農機具費

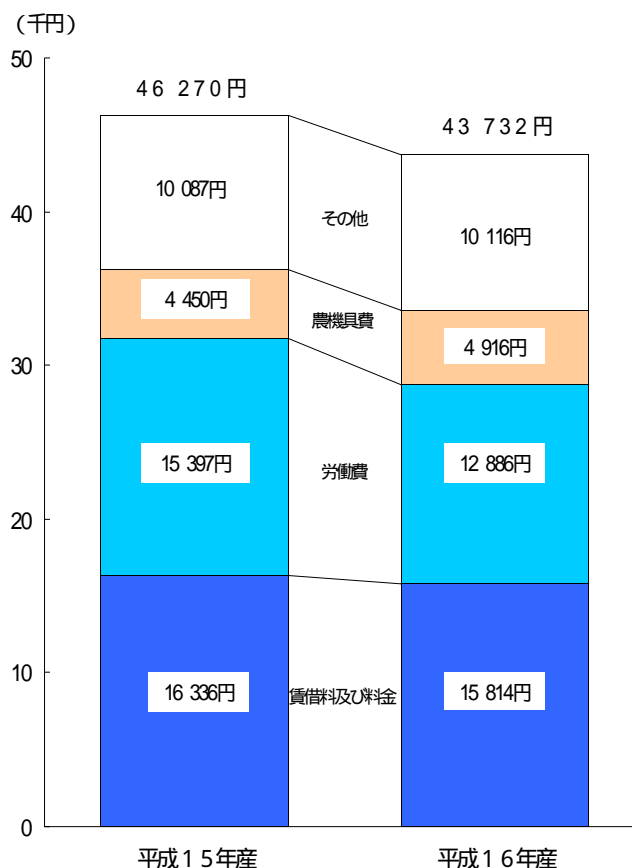
農機具費は4,916円で、前年産に比べ466円(10.5%)増加しました。これは、管理機等の更新により償却費が増加したためです。

2 収益性

10a当たり粗収益は3万3,135円で、前年産に比べ1万7,472円(34.5%)減少しました。

これは、国内産大豆の不作で価格は上昇したものの、度重なる台風の襲来等により収量が減少したためです。

図2 主要費目の費用(10a当たり)



統 計 表

【統計表の見方】

表中に用いた記号は以下のとおりである。

「 ↓ 」...減少したもの

「 - 」...事実のないもの

「 ... 」...事実不詳又は調査を欠くもの

【統計表】

1 生産費

区 分	10 a 当 た り				60 kg 当 た り			
	平.16年産	平.15年産	対前年増減率	全 国	平.16年産	平.15年産	対前年増減率	全 国
	円	円	%	円	円	円	%	円
物 財 費	30 846	30 873	0.1	32 359	18 190	10 492	73.4	13 974
種 苗 費	1 687	1 676	0.7	2 343	995	570	74.6	1 012
うち、購入	1 627	1 572	3.5	1 988	960	534	79.8	859
肥 料 費	1 475	1 726	14.5	3 543	869	586	48.3	1 533
うち、購入	1 467	1 722	14.8	3 487	864	585	47.7	1 508
農 業 薬 剤 費	2 740	2 549	7.5	3 509	1 616	866	86.6	1 514
光 熱 動 力 費	1 083	979	10.6	1 305	639	333	91.9	564
そ の 他 の 諸 材 料	61	2	2950.0	174	36	1	3500.0	75
土 地 改 良 及 び 水 利 費	544	1 056	48.5	1 875	322	359	10.3	809
賃 借 料 及 び 料 金	15 814	16 336	3.2	10 325	9 327	5 551	68.0	4 459
物 件 税 及 び 公 課 諸 負 担	1 023	813	25.8	942	601	276	117.8	406
建 物 費	705	763	7.6	1 012	416	259	60.6	437
うち、償却費	589	687	14.3	736	347	233	48.9	318
自 動 車 費	745	1 084	439	468
うち、償却費	392	526	231	227
農 機 具 費	4 916	6 042	2 899	2 609
うち、償却費	3 976	4 233	2 344	1 828
生 産 管 理 費	53	39	35.9	205	31	14	121.4	88
うち、償却費	0	2	...	33	0	1	...	14
労 働 費	12 886	15 397	16.3	18 330	7 598	5 232	45.2	7 913
うち、家族	12 793	15 349	16.7	17 561	7 544	5 216	44.6	7 581
直 接 労 働 費	12 612	15 157	16.8	17 914	7 436	5 150	44.4	7 733
間 接 労 働 費	274	240	14.2	416	162	82	97.6	180
費 用 合 計	43 732	46 270	5.5	50 689	25 788	15 724	64.0	21 887
購 入 (支 払)	25 913	26 228	1.2	27 185	15 281	8 913	71.4	11 739
自 給	12 862	15 457	16.8	17 976	7 585	5 253	44.4	7 761
償 却	4 957	4 585	8.1	5 528	2 922	1 558	87.5	2 387
副 産 物 価 額	120	58	106.9	207	71	19	273.7	89
生 産 産 差 引 (副 産 物 価 額 差 引)	43 612	46 212	5.6	50 482	25 717	15 705	63.8	21 798
支 払 利 子	63	52	21.2	319	37	18	105.6	138
支 払 地 代	2 570	2 411	6.6	5 513	1 516	819	85.1	2 380
支 払 利 子 ・ 地 代 算 入 生 産 費	46 245	48 675	5.0	56 314	27 270	16 542	64.9	24 316
自 己 資 本 利 子	2 007	2 170	7.5	2 048	1 184	737	60.7	884
自 作 地 地 代	7 652	10 553	27.5	6 869	4 513	3 586	25.9	2 966
全 算 入 生 産 費	55 904	61 398	8.9	65 231	32 967	20 865	58.0	28 166

注：自動車及び農機具費については、平成15年産まで農機具費として調査・表章していましたが、平成16年産から自動車費と農機具費に分割して調査・表章しています。

2 作付面積、労働時間及び収益性

区 分	単位	10 a 当 た り			
		平.16年産	平.15年産	対 前 年 増 減 率	全 国
作付面積（1戸当たり）	a	73.3	68.8	6.5	106.8
				%	
労働時間	時間	9.51	11.39	16.5	12.51
うち、家族	"	9.46	11.35	16.7	11.83
直接労働時間	"	9.32	11.20	16.8	12.22
間接労働時間	"	0.19	0.19	0.0	0.29
主産物収量	kg	102	176	42.0	139
粗 収 益	円	33 135	50 607	34.5	45 949
主 産 物	"	33 015	50 549	34.7	45 742
副 産 物	"	120	58	106.9	207
所 得	"	437	17 223	-	6 989
"（1日当たり）	"	370	12 140	-	4 726
家族労働報酬	"	10 096	4 500	-	1 928
"（1日当たり）	"	8 538	3 172	-	1 304

【関連するデータ】

累年表（10a当たり）

単位：円

	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年
物 財 費	21 794	21 522	24 683	26 296	30 511	31 697	29 596	31 435	30 873	30 846
労 働 費	33 602	31 216	25 014	25 291	19 857	17 547	17 608	16 695	15 397	12 886
全 算 入 生 産 費	70 276	69 477	65 515	69 852	64 234	65 039	62 087	63 662	61 398	55 904
粗 収 益	60 945	62 398	55 701	52 410	45 588	56 306	44 448	49 636	50 607	33 135
所 得	34 312	36 504	27 409	21 309	12 584	21 325	10 544	15 037	17 223	437

【調査の仕様】

1 調査の目的

農業経営統計調査の大豆生産費統計は、大豆の生産コストを明らかにし、大豆の生産対策、経営改善対策等の資料を整備することを目的としています。

2 調査の対象

本調査は、全国の販売農家（経営耕地面積30a以上、又は過去1年間の農産物販売金額50万円以上の農家）のうち、大豆を10a以上作付けし、販売した農家を対象に実施しました。

3 調査期間

この調査の期間は、平成16年1月から12月までの1年間となっています。

4 調査方法

調査農家による現金出納帳及び作業日誌への記帳（自計申告）と職員の面接による聞き取り調査を併用して取りまとめたものです。

5 調査（集計）戸数

本調査は、全国で423戸の農家を対象に実施しており、九州地域ではこのうち、97戸が該当しています。

ここに掲載した結果は、調査農家97戸のうち、調査期間中に調査不能になった農家及び過去5か年の10a当たり収量のうち、最高及び最低の年を除いた3年間の10a当たり平均収量に対し、調査年の収量の増減収率が±70%以上であった農家を除いた農家(72戸)を集計したものです。

6 用語の解説

家族労働費とは、「毎月勤労統計調査」（厚生労働省）の建設業、製造業、運輸・通信業に属する5～29人規模の事業所における賃金データ（都道府県単位）を基に算出した男女同一単価（該当地域で男女を問わず実際に支払われた平均賃金）により評価したものです。

地代のうち自作地地代は、その地方の類地（調査対象作物の作付地と地力等が類似している作付地）の小作料で評価したものです。

「収益性」の所得及び家族労働報酬の算出方法は、以下のとおりです。

(1) 所得 = 粗収益 - [生産費総額 - (家族労働費 + 自己資本利子 + 自作地地代)]

ただし、生産費総額 = 費用合計 + 支払利子 + 支払地代 + 自己資本利子 + 自作地地代

(2) 1日当たり所得 = 所得 ÷ 家族労働時間 × 8 (1日換算)

(3) 家族労働報酬 = 粗収益 - (生産費総額 - 家族労働費)

(4) 1日当たり家族労働報酬 = 家族労働報酬 ÷ 家族労働時間 × 8 (1日換算)

本統計結果の詳細は、追って刊行する『平成16年産 麦類及び大豆の生産費』（仮称）に掲載します。

【用語の図解】

粗 収 益	主 産 物	資本利子・地代全額算入生産費	支払利子・地代算入生産費	生産費（副産物価額差引）	生 産 費 総 額	費 用 合 計	自己資本利子	自己資本利子	（所得） 利 潤	（家族労働報酬） 利 潤
							自作地代	自作地代		
							支払利子	支払利子	+	
							支払地代	支払地代		+
							労働費	家族労働費	家族労働費	
							物 財 費	雇用労働費	雇用労働費	
								種 苗 費	種 苗 費	
								肥 料 費	肥 料 費	
								農 業 薬 剤 費	農 業 薬 剤 費	
	光 熱 動 力 費	光 熱 動 力 費								
その他の諸材料費	その他の諸材料費									
土地改良及び水利費	土地改良及び水利費									
賃借料及び料金	賃借料及び料金									
物件税及び公課諸負担	物件税及び公課諸負担									
建 物 費	建 物 費									
自 動 車 費	自 動 車 費									
農 機 具 費	農 機 具 費									
生産管理費	生産管理費									
副産物										

【関連リンク】

九州農政局ホームページ > 農林水産情報 > 農林水産統計
<http://www.kyushu.maff.go.jp/toukei/home/sokuho.htm>

九州農政局ホームページアドレス
<http://www.kyushu.maff.go.jp/>

【問い合わせ先】

本統計調査結果について

連絡先：九州農政局 統計部 経営・構造統計課 経営統計第3係
 電 話：（代表）096-353-3561（内線4742）
 （直通）096-353-7567

農林水産統計全般について

連絡先：九州農政局 統計部 統計企画課 企画第2係
 電 話：（代表）096-353-3561（内線4723）
 （直通）096-353-7556